

平成28年5月9日伊那市議会議長選挙所信表明

この度議長選挙に立候補いたしました、黒河内浩でございます。

立候補にあたって私なりの思いと公約を申し上げ、議員の皆様のご理解を賜りたいと思います。

一、まず、立候補するに至った理由であります。

議会は何のために存在するのか？議会の役割とは何ぞや？そして、その議会を構成する議員は何を為していかなば為らぬか？

議会・議員にとって永遠のテーマでもあります。我々の目線は常に市民に向けられていなければなりません。市民の声を聴き、民意を反映させていくことが議会の役割であり、議会運営上の大前提となります。

伊那市議会ではこれまで継続して議会改革に取り組み、議会のあるべき姿を追求してきました。今年3月下旬には、議会改革の研修の一環として、改革特別委員会所属議員3名で「地方議会議員フォーラム」に参加し、研修を受けてまいりました。この研修では、議会の必要性、議会改革の重要性をあらためて認識してきましたが、最大のテーマは「議会が変われば地域が変わる」です。議会が変わらず同じことの繰り返しでは、議会の進歩、市政の発展はありません。伊那市議会の変化、改革の実行のためには、「議長の多選を許すべきではない。」とする民意をしっかり受け止め、人事の刷新を図っていくことが伊那市議会の改革と発展の大前提となります。議長をはじめ常に議会内の人事に変化をもた

らし、新鮮な体制のもとで議会活動に励んでいくことが議会全体のレベルアップにつながり、議会に対する市民の信頼を得られることになりま  
す。市民の信頼が失われた議会では、議会そのものの存在感が失われて  
しまいます。

新たな体制のもとで、よりレベルアップした伊那市議会を皆さんと  
もに創りあげていきたいと思っています。是非ご支持を賜らんことをお  
願い申し上げます。

二、次に、私なりの公約をこの所信表明において申し上げたいと思いま  
す。

伊那市議会には、議会の憲法ともいふべき議会基本条例が存在します。

この基本条例の趣旨に則り、市民との対話である「市民と議会との意見  
交換会」のさらなる充実を図るとともに、常に広範囲にわたって政策提  
言のできる議会を目指したいと思っています。そのためには具体的に何  
をするかではありますが、

(1) まず、定期的な議員間討議・討論の開催を図ります。

これまでの議員間の討議といっても、全員協議会の延長戦上で理事者  
側に向かって意見を述べる方式で、全く形式的なものでした。これでは  
議員間討議・討論とは言えません。私は、議員間のみで、テーマを設け  
て、しかも定期的に討論の場を設けるよう持っていきたいと思いを  
ます。

これまで継続して検討してきた議会改革についても、議会改革特別委員

会で出された答申の内容を、この議員間討論の場で継続検討していきたいと考えています。さらに議会における審議のあり方、特に決算審査のあり方については各議員からご意見を頂いておりますので、この議員間討議を経て方向性を探って行きたいと思っております。

さらにはこの討議に至る前提として、市政における課題の指摘や、問題点の整理、討議のテーマの設定等をするための場として、会派代表者懇談会を定期的かつ随時実施していきたいと思っております。

(2) 次に、特別委員会については2つの委員会を設置したいと考えています。

① (仮称) 事業点検評価特別委員会の設置であります。

議会は二元代表制のもとで、市民の声をしっかりと受け止めて、行政側が行う執行権をチェックすることが何より大切な機能です。そのためには行政が実施する事業をしっかりと点検し、評価できる点は評価するも、改善が必要な事項については指摘していくことが必要です。そのためにも、この点を実施していく特別委員会を設置したいと考えています。議会版の「行革審」とも言えます。さらに事業を点検評価することにより、議会における「政策研究所」的な機能も併せ持たせたいと思います。また、昨年の市民との意見交換会で出された、議会での合併効果の検証をすべきだとの意見も重視し、この特別委員会のもとで10年間の合併効果を検証し、今後の10年後の伊那市のあるべき姿を求めています。

きたいと思います。

②今一つは、(仮称) 地域創生あるいは地域振興対策特別委員会です。

伊那市の創生のあり方、振興対策を、市民との意見交換会で出されてきた提言や意見も十分に加味したうえで、議会として議論し伊那市の振興に結び付けるよう検討していきたいと考えています。この特別委員会では、これまでの道路・交通網対策特別委員会と人口増対策特別委員会の答申内容を尊重し、これ等を包括し、継続する形で、伊那市創生のためには、どのような政策・対策が必要なのか、さらなる検討を加えていきたいと思っています。

③この2つの特別委員会については、議会としての提言や意見等の具体策を出し、それが市政の中で予算化される等の結果を出すことが望まれます。そのためには、これまでのように2年間かけて審議するのではなく、来年の9月議会頃までには可能な範囲で具体的な結果をだし、平成30年度予算には、その結果が議会の総意として反映できるようにしていきたいと考えています。

以上の点を私なりの公約として掲げ、全力投入していきたいと思っています。是非ご協力を賜るようお願いし、私からの所信表明といたします。ありがとうございました。